



コロナ禍で不自由な生活を強いられるなか、「遠くへ行きたい」という欲求が募ることはないだろうか。その目的地を考える際、「南の島」を思い浮かべる人は多いかもしれない。

日本は島国だ。海上保安庁は日本の構成島数を6852と公表し、国土交通省は有人島を416とする。その島で人が暮らせるかどうかは、「水（淡水）を確保できるか」が左右する。古来、湧き水のそばに人びとは住み着き、集落を形成した。今も祭祀の場は湧き水と分かちがたくある。

今回は数多ある島のなかから、九州以北の「ヤマト」と沖縄以南の「琉球」の文化的要素が混在する南国の島々、南西諸島（琉球弧）に目を向けた。

島々を巡りながら、その魅力や文化、環境、そこに暮らす人びとと水のかかわりに目を向けることで、本来あたりまえに得られるわけではない「水」への眼差しと、島国・日本のあり方について思いをほせたい。

特集

南西諸島 水紀行

目次

巻頭エッセイ

2 ひとしづく「とーとぅがなし」の心を忘れずに 町 亞聖

特集 南西諸島 水紀行

6 総論 最大限の努力と工夫で「足るを知る」島暮らし 須山 聡

10 屋久島 山に対する畏敬の念が残る「水」の島

18 加計呂麻島 祭祀の痕跡が残る静謐な島

24 与論島 身も心もほどけるような楽園の水事情

30 文化をつくる

行ってみなければわからない 多様で柔らかな島の文化 編集部

Column

33 水の余話 島暮らし「三種の神器」 浦 環

連載

34 水の文化書誌 61

地球温暖化・気候危機・気候崩壊を論じる（上） 古賀邦雄

36 みず・ひと・まちの未来モデル4

首都圏の「過疎のまち」に

なぜ若い移住者が増えているのか？ 野田岳仁

42 食の風土記 17 強毒が極上の珍味に変わる ふぐの子 めか漬

44 Go! Go! 109水系 22

市民がつくった心地よい空間あふれる矢作川 坂本貴啓

50 センター活動報告

51 編集後記／ご案内

（敬称略）